

学校だより青南

9月号

令和5年9月1日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



「思いに支えられ2」

校長 野口 直樹

2学期が、始まります。チャイムの鳴らない40日余りを過ごし、今日から青南小学校での生活がスタートです。

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、多くの夏の風物詩が帰ってきた夏休みでした。日本全国で、花火大会や盆踊り・夏祭りが実施され、帰省ラッシュも帰ってきました。この南青山でも、地域の皆様により、7月30日・31日の2日間、盆踊りが開催されました。

私は、7月30日に会場となる善光寺に行きました。18時ごろまででしたが、人であふれていました。善光寺の境内の中央には、やぐらが組まれており、周囲にはたくさんのお店が出ていました。

青南小学校の子どもや、卒業生もたくさん来ていました。子どもたちの待望の行事なのだなと思いました。盆踊り会場にあるいくつもの屋台も地域の皆さんの手弁当での出店です。あの暑い中、鉄板に向かい焼きそばを焼いたり、綿あめを作ったりと、皆さん汗だくになりながらやっておられました。

会場の設営から当日の運営全て、町会の皆さんのボランティアによるものです。町会のある方は、「自分たちが子どものころにやってもらっていたことを今自分がやっている」とのことでした。とは言え、あの暑い中子どもたちのために2日間にわたる行事を運営するのは、並大抵ではありません。

また、以前もこの学校だよりでふれさせていただきましたが、本校外構花壇の管理を、地域の方々（青南ガーデニングクラブ）にお手伝いいただいています。四季折々の花々を植え、子どもたちや地域の皆さんが季節を感じられるようにして下さっています。この夏も猛暑の中、植栽が枯れないようにお世話をしてくださいました。これらの出来事にふれる度に、本校の子どもたちや学校が、地域の皆さんから、大切にされているのを改めて実感しました。

GoogleのAIに「南青山ってどんなところ」と聞いてみたところ、「話題のショップや時代を先駆けるハイブランドの旗艦店、注目のカフェやレストランなどが並ぶファッショナブルな高級住宅街。憧れの町としてトップに君臨しています。」と答えていました。おそらく、日本中の方がこのように思っているのでしょう。青南で働く前は、私もそう思っていました。AIも、ここに日本らしい人情にあふれる学校や地域社会があるとは思っていないようです。

ともあれ、そんな最先端の町の学校は、地域・保護者に支えられ、元気いっぱいの先生たちのもと、素直な子どもたちが明るく楽しい学校生活を送れるよう、精一杯教育活動を行ってまいります。2学期も引き続き変わらぬご協力をお願いいたします。

【規則正しく生活しよう】

夏休みの間、子どもたちが規則正しい生活を送れるようご支援いただき、ありがとうございました。子どもたちは、約束を守って、元気に過ごすことができたでしょうか。いよいよ2学期が始まります。

9月の生活目標は「規則正しい生活をしよう」です。2学期の発育測定では、「早寝早起き朝ごはん」について保健指導が行われます。自分の生活を振り返り、できることから意識して取り組み、生活のリズムを整えてほしいと思います。まだまだ気温の高い日が続くであろうと予想されます。熱中症対策としても生活リズムを整えることは効果的です。2学期も毎日元気に登校できるように、こまめな水分補給とともに引き続き子どもたちの体調管理をよろしくお願いいたします。

【3年生】

7月5日（水）に食育の一環として3年生はとうもろこしの皮むきを行いました。

まず、トウモロコシを育てている農家さんとオンラインでつなぎ、お話を聞きトウモロコシ畑を見せていただきました。また、実際に畑に生えている状態のトウモロコシの葉や茎などを見て、草丈の大きさに子どもたちは驚いていました。

次にトウモロコシの皮むきを体験しました。農家の方におき方を教わったので、みんな丁寧にむいていました。バナナのように皮をむき終わると、最後に茎をポキッと折らなければならず、なかなか折れない子のトウモロコシを他の子が手伝ったり、こつを教えたりと協力して取り組む姿がみられました。

食べるために様々な苦労があることを学んだ1日でした。

【給食委員会】

給食委員会の主な活動として、全校児童に栄養バランスを考えて給食を食べてもらうために、配膳室の前にある栄養黒板を作成することを行っています。この活動に加えて、今年度は「地球環境のことを考え、残菜を減らしていくこと」「楽しく給食を食べること」を全校児童に発信していくことを目標として、楽しい活動を企画しています。コロナ禍の生活の制限が減り、楽しく給食が食べられる状況になってきたので、上記の目標が達成できるよう、メンバー全員で力を合わせて取り組んでいこうと思います。

【手芸クラブ】

6年生がリーダーシップを発揮し、異学年で交流し、楽しく活動しています。

5年生は、新しい裁縫箱を使い、「家庭科」の学習ともにスタートとなる活動です。4年生にとっては、全く新しい制作活動の体験です。針やはさみ、アイロンなどの道具は、使い方を間違えると大変危険です。約束ごとを確認し合い、慎重に取り組んでいます。分からないこと、困ったことは、相談し、助け合っています。さあ、秋から冬には作品が一つ完成です。どんな作品ができあがってくるのでしょうか？